

キヨラビ通信

8 Aug.

■きくちさるく
菊池渓谷

■管理栄養士エリカのたべよか。
「夏野菜のスパイシーサンド」

■健康コラム
「夏の暑さ」に3つの対策



KIYORA-TOPICS

キャンペーンの
お知らせ

8月16日(火)~



ほちやつとかわいいマイメロディデザインの水素ゼリーが8月16日から2か月間ローソンで限定販売されます！このキャンペーンでしか手に入らない、キュートで便利なマイメロディの「マグネットしおり」付き。1店舗につき数量限定での販売なので、お早目に！



難消化性
デキストリン
使用

水素ゼリー販売開始！
長の新しい水素ゼリーが発売にな特
別賞味ください。ぜひ一度、

水素&たっぷりの食物せんいが特
別賞味ください。ぜひ一度、

キヨラビ通信へのご意見
ご感想をお待ちしております

キヨラビ通信へのご意見
ご感想をお待ちしております
ありがとうございます。（キヨラビ通信に掲載する場
合があります。ベンネーム、年齢、性別を
お知らせいただけないと幸いです。）

KIYORABI
×
Sports

KIYORAきくちは
輝くアスリートを
応援しています



編集後記

■ 内容について、無断で転載、複製することは禁じられています。

■ お問い合わせについては本社広報まで

一ヵ月ぶりのキヨラビ通信。いかがだった
でしょうか。そしてお気づきでしょうか。
これまでのことをお届けしていきます。今回
は予算でニユーバルしてあります。今回
は表紙で、吉田健斗
吉田 健斗

メール koho@kiyora-kikuchi.com
FAX 0968 (41) 4877
（㈱K I Y O R A きくち
「キヨラビ通信」係
宛先 〒861-1303 熊本県菊池市今129-2

キヨラビ通信 2016年8月号
発行人 株式会社 K I Y O R A きくち
編集校正 吉田 健斗
吉田 健斗

さくくちさるく



夏野菜を
ピリッと
ペロッと

LUNCH

夏野菜のスパイシーサンド

【作り方】所要時間:約30分

- ①パンをトーストし、片面にマヨネーズを塗る。
- ②みじん切りにした玉ねぎをしんなりするまで炒め、ひき肉を入れ、色が変わったら細かく切ったカレールーを入れてドライカレーを作る。
- ③トマト、きゅうりは好きな厚さにスライスしておく。
- ④フライパンで目玉焼きを作る。目玉焼きは塩コショウをし、黄身が半熟程度になるように両面を焼く。
- ⑤パンに、チーズ、ドライカレー、好みでハラペーニョ、目玉焼き、トマト、きゅうりの順で重ねて、しっかりとラップで包み10分程度なじませる。半分に切ったら完成。

材料 (2人分)

食パン	4枚
ひき肉	150g
玉ねぎ	中1/2個
カレールー	1片
卵	2個
トマト	中1/2個
きゅうり	1/2本
チーズ	2枚
油	適量
塩コショウ	適量
マヨネーズ	適量
ハラペーニョ	好み



内藤 エリカ

KIYORAきくち社員。
管理栄養士。趣味は旅行
と釣り。



Point

スパイシーサンドの要はなんといっても、ドライカレー。玉ねぎのシャキシャキ感を味わいたいなら先にひき肉を、甘味を味わいたいなら後にひき肉を炒めましょう。



Point

卵は焼きすぎずに少し半熟になる程度の焼き加減がオススメ! サンドイッチをガブッと口に入れたときのフレッシュさが違います。(画像は焼いている途中です。)

夏野菜を食べよう♪

トマト
なす
スイカ



Point

カリウムを壊さないよう、できるだけ生で食べましょう!



1
野菜を
食べる

夏野菜を食べて、
おひしく暑さ対策!
【夏の暑さ】に
3つの対策

湿度
-10%

体感温度
-1°C

健康
コラム

夏野菜を食べて、
おひしく暑さ対策!
【夏の暑さ】に
3つの対策

湿度
下げる

湿度が10%下がると
体感温度は1°C下がる

氷枕や保冷材は夏には定番のグッズ。直に使用すると冷たすぎます。そして首を冷やすことは、脇や股に保冷材を挟むことで、体温が下がります。また、カリウムが熱によって壊れやすい成分なので、夏野菜はできるだけ生で食べましょう。

3
保冷剤を
使う

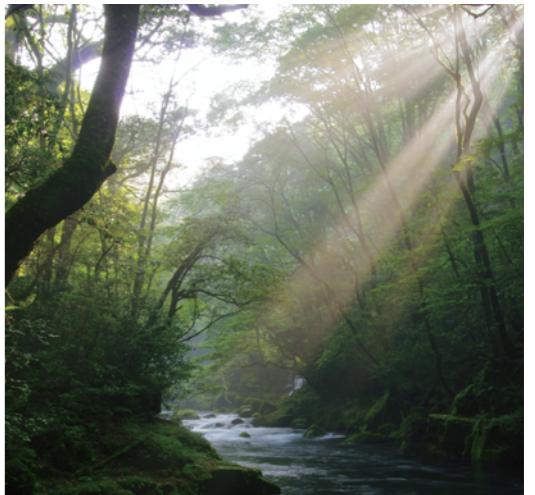
脇と股

夏の暑さには、エアコンの「除湿機能」がとっても効果的! 夏の暑い日だと、湿度は大体80%くらい。実は湿度が10%下がります。つまり、部屋の湿度が30%下がれば、体感温度は1°C下がります。もちろん、湿度での除湿でもOKです。



熊本の清流、菊池渓谷

「東は奥入瀬、西は菊池」と云われるほど、その雄大な渓流と光芒が美しいことで有名な菊池渓谷。一帯にはモミヤツガ、ケヤキなど広葉樹林の原生林に覆われています。その間をぬつて流れれる淡水は大小さまざまな瀬と渕と滝をつくり、その変化に富んだ渓流と美しい森林とが織りなす姿は「渓谷美の極致」と称されるほど。また、春は新緑、秋は紅葉、冬は霧氷など、四季折々でその表情を変え、訪れる人々の目を楽しませ、心を癒してくれます。



最たる見所は「黎明の滝」でしょう。流れの中に大きな岩があり、その両側から勢よく落流していきます。白い飛沫の中に、淡いブルーの流れを見ることが選ばれるほどの澄んだ水質を持ち、手に掬ってそのまま飲むことができます。多くの観光客やカメラマンを魅了しています。



「さるく」・・・熊本弁で“歩き回る”“うろうろする”という意味。